



日本勤労協第3回幹事会を開催

9月13日(木)10:30～連合会館にて、第3回幹事会を開催し、これまでの経過報告及び今後の活動方針を決定しました。各県連及び単位勤労協の活動を要請します。

○ 出席者 宇津井・藤田・橋本・清水・篠原・矢野

《経過報告》

各幹事からブロックごとの報告がされました。(詳細略)

《協議事項》

1. 日本勤労協2018年度会費・物資販売事業の取り扱いについて

(1) 第28回静岡全国総会において「財政小委員会」は、2017・2018年度予算案を承認いただきました。その内容に基づき要請します。

- ① 2018年分日本勤労協会費の確認について
- ② 2018年分日本勤労協物資販売事業の要請について
物資販売県連別割当数の確認

幹事会終了後各県連に要請していきます。各単位勤労協のご協力をお願いします。

2. 2019年第29回全国総会の開催日程確認

- 1) 開催日時 2019年9月29日(日) 14時 ～ 30日(月) 11時30分
- 2) 開催会場 ことひら温泉 「琴参閣」(2005年5月に開催したホテルです)
〒766-0001 香川県仲多度津郡琴平町685-11 TEL 0877-75-1000
- 3) 参加費 15,000円
- 4) 準備勤労協は香川県勤労協連合会をお願いします
- 5) 総会規模 約100名とする

※ 2019年は統一地方選挙(4月)、参議院議員選挙(7月下旬)が予定されていることや観光シーズン、9月議会を考慮し開催日程を検討しました。

3. 日本勤労協組織実態調査の取組みについて

第28回全国総会(静岡総会)の中で指摘されてきました、日本勤労協の全国組織実態がどのようになっているか、自前議員・推薦議員をどの程度抱えているか、他団体との協力関係などを調査するため取組んで行くこととします。

- 1) 調査内容 別紙による調査表

- 2) 調査対象 勤労協県連合会・各単位勤労協の組織実態
- 3) 調査期間 2018年10月～2019年3月末日
- 4) 集約は日本勤労協事務局の勤労協静岡県連合とします
各県連合は単位勤労協の調査表を集約し日本勤労協へ送付してください
- 5) 実態調査集約表は全国総会に提出します

4. 2018年度今後の活動方針について

(1) 2018年度活動方針について

第28回全国総会の4つの基本方針を確認し取り組みます

- ① 地域に根ざした勤労協活動の展開
- ② 組織の活性化を目指し具体的行動を
- ③ 脱原発・憲法改悪反対・共謀罪反対・沖縄辺野古新基地建設反対に向けた運動の展開
- ④ 地方自治体改革と自前議員・推薦議員の確保に向けて

(2) 当面の重要な課題と闘いの前進に向けて

- ① 憲法9条を中心とした平和憲法を守るため3000万署名活動の強化を図る

安倍政権が3選を目指す大きな目標は憲法改悪を強行し、自衛隊の9条に明記し、集団的自衛権行使や軍備拡大を図って行くことにあります。2019年には国民投票を取組もうとしています。私達は日本国憲法の平和主義、民主主義、基本的人権を大切にし、集団的自衛権を認めない立場から「戦争をさせない1000人委員会」などと協力し、広範な国民運動に発展して行くため3000万署名運動など取り組みを強めて行きます。

- ② 沖縄県民と連帯し「辺野古新基地建設反対」の運動支援を強めます。

脱原発・再生可能エネルギーへの転換を求めて原発再稼働に反対します。

8月8日翁長沖縄県知事が逝去しました。知事は一貫して辺野古新基地建設を阻止する対策で政府と対峙してきました。日本の米軍基地の70%が沖縄に集中し事故や事件が相次ぐ中で、沖縄に新たな基地建設を認めないが沖縄県民の意思であり、私達も共闘の輪を広げて行きます。

2011年3月東日本大震災による福島第1原発事故から7年が経過していますが、未だ原発事故原因は解明されていません。汚染水処理も混迷しています。原発周辺市町村に帰宅が解除されていますが帰宅者は少数で、特に子供を抱える家族は帰宅を望んでいません。

政府はこうした中で、相次いで原発再稼働を進めていますが、地元住民の反対や避難計画のあり方が問われています。「核と人類は共存できない」を主張し、脱原発・再生可能エネルギーへの転換を目指していきます。

- ③ 2019年7月に施行される参議院選挙に野党勢力の結集を求め、最悪政権である安倍政権の退陣を求めて闘いを強化して行きます。

第2次安倍政権は発足以来、特定秘密保護法、新安保法制により集団的自衛権の行使、自衛隊の駆けつけ警護や後方支援の拡大、テロ等準備罪（共謀罪）、原発再稼働の推進、カジノ法などを強行し、日本を戦争のできる国づくりへと進めています。安倍政権に終止符を打つため参議院選挙で野党結集を求めていきます。全国32選挙区の1人区には野党

統一候補で闘えるよう求めています。

④ 統一自治体選挙に自前候補、推薦候補を擁立し闘いを展開しよう

2019年4月は統一自治体選挙が取組まれます。地方自治を住民サイドの課題に論議が集中できるよう、勤労協の自前議員、推薦議員の擁立を目指し取り組みを強化して行きます。

⑤ 2025年問題に向けて課題を整理し研究を深めよう

2025年問題とは団塊の世代が75歳以上になっていく時期が2025年となります。年金問題、医療制度問題、介護保険問題など大きな課題となります

課題を整理し問題点を研究し自治体要望に結び付けて行きます。

課題は(1) 高齢化社会を支える生産年齢と年金制度などの課題

(2) 医療制度、医療費などの課題

「地域医療・介護総合確保推進法」の役割

(3) 認知症対策などを含む介護保険、介護サービスの課題

「認知症地域支援推進員制度が発足」

(4) 高齢者世帯、一人暮らしなどの課題

「限界集落」などの対策

(5) 2019年10月消費税が10%に上げが予定されていますが

福祉目的となっているか、国民生活の影響など明確にするよう求めて行きます。

5. その他

① 次期幹事会は2019年2月6～7日に開催します。

ブロックの動き・県連の動き

■九州勤労協

第31回九州勤労協総会・研究集会

鹿児島県・桜島をのぞみ90人が集う

8月19日～20日の2日間、鹿児島市・与次郎のホテル「ウェルビューかごしま」において、31回目となる九州勤労協総会・研究集会を開きました

連日の異常ともいえる酷暑の中、九州各県から90人にせまる参加者をかち得たことは、会員各位の勤労協に対する集中性のたまものと評価されるべきでしょう。

総会は熊本県の中松健児氏の開会挨拶に始まり、議長に鹿児島県の下馬場学氏を選出しました。

このあと、主催者として九州勤労協の原通代表から「この集會に九州各県から勤労協運動の継承・発展のために集まっていた

だき敬意を表します」との挨拶があり、続いて地元から鹿児島県



講師の加藤裕子氏

護憲平和フォーラム共同代表の下馬場 学氏が歓迎の挨拶をしました。

来賓として社民党鹿児島県連の野呂正和副代表から挨拶を受け、外せぬ公務で欠席となった鹿児島市長のメッセージが披露されました。

そのあと、九州勤労協・矢野副代表から「経過報告・活動方針案・役員選出案」が一括して提案され、質疑討論のあと全会一致で承認されました。

記念講演は（訪問看護ステーション「てあて」所長）の加藤裕子氏が「あなたらしい人生を、あなたらしく迎えるために」と題して90分のお話をされました。

1日目の議事を終えた午後6時から会場を移して交流・懇親会となりました。各県からカラオケの披露もあり、恒例となった「ドジョウすくい」の名演技も飛び出し、2時間にわたって親睦を深めあいました。



今年も見られた名演技

2日目は午前9時から議事を再開し、各県から8件の活動報告がなされ、九州勤労協の多彩な活動をつぶさに知ることができました。

そのあと「総会のまとめ」を鹿児島県勤労協の磨島事務局長が提起し、最後に来年開催予定の佐賀県の音頭で団結ガンバロウを三唱して総会の幕を閉じました。

(九州勤労協 矢野俊雄)

■ 勤労協福島市連

第37回定期総会を盛大に開催 来年の参院・地方選を見すえ、 市民運動前進に向け全単協総力結集を !!

7月6日(金)野田町きらり生協本部「健康の家」において、勤労協福島市連第37回定期総会が開催されました。

各単協及び単組・来賓あわせて58名の参加の中で、17年度経過・総括・決算の承認、18年度方針・予算を満場一致で採択しました。



議事は片岡(飯坂)議長によってスムーズに進行し、須田勝利会長挨拶・ご来賓挨拶の後に討論に入りました。

議事では「飯坂リハビリ跡地」「核兵器廃絶平和都市



宣言「モニタリングポスト撤去」等の課題に関する問題意識が出され、総会全体として認識一致をはかりながら次年度運動にいかしていくことを確認しました。

役員改選において、昨年度一定の役員交代があったこともあり、本年度は現体制を引き継ぐこととなりました。引き続き当面の運動・行動日程に対する認識統一をはかり、最後に「安倍内閣の暴走、改憲策動を許さず、全単協総力結集で参院選及び地方選勝利を目指す特別決議」を採択して総会を閉じました。

第二部団結交流会は茂木芳雄幹事進行のもと、長年県連・東北ブロック役員を務められ、この度退任となりました茂木憲夫前会長の労をねぎらいながら、新たに県連・東北ブロック事務局長に選任された三浦正弘さんと引き続き役員を担われる八巻利行さんに対し、市連全体としての激励会をメインに交流しました。とりわけ茂木前会長は県連27年・ブロック22年の長きにわたりご尽力いただき、改めて感謝申し上げます。

テーブルスピーチで互いの近況や問題意識が語られ、和やかな交流に全体が包まれた貴重な一日でしたし、全員で準備し、全員で片付ける「勤労協らしい手作り交流会」によって回を重ねるごとに一体感も強まっています。

なお、今後の原水禁運動のスタートとして総会の中で取り組まれた「原水禁カンパ」に参加者全員快く賛同頂き、10,277円が集約されました。

参加の皆さんご苦労様でした。



2018年福島地区憲法講演会 「心さわぐ」局面「心つなぐ」運動を

6月13日(水)教育会館において本年度憲法講演会が開催され85名が結集しました。元岩波書店編集者でノンフィクション作家の大塚茂樹さんを招き、「憲法9条改悪と私たちの課題」をテーマに問題提起を受けました。

安倍改憲策動はより具体化する重大な時期を迎え、護憲派主張と改憲派宣伝様々あるがカギを握る中間派に届くメッセージの重要性が訴えられました。「心さわぐ」不安や胸騒ぎがするから頑張れるし、不安や胸騒ぎを乗り越える「心つなぐ」運動が求められています。



(福島市勤労協 市連だより1号・2018/7/16 より)

お金のことで悩んだ時も
親身になって支えてくれる。
けっこう、いいよね。
だから、私の、メインBANK。

けっこう使える。
ろうきん

あなたと
わかちあう
次の一歩

ろうきん

ろうきん アンバサダー 高梨 暁

QRコード

2023年4月1日現在

ZENROSAI NEWS

たすけあいの心から生まれた
多彩な共済で安心の未来を。

全労済
公式キャラクター
ピトくん

一人より二人、二人より三人と広がったたすけあいの輪。
確かな今日と、健やかな未来を守りつづけて、
全労済は創立60周年を迎えました。
常に時代にあった保障のカチを提供していくことで、
これからも、支えあう安心をさらに大きく広げていきます。

おかげさまで60周年

全労済の住まいる共済	火災共済・自然災害共済	こくみん共済	総合医療共済
せいめい共済	マイカー共済	自賠責共済	団体生命共済
交通災害共済	新セット移行共済		

全労済は、営利を目的としない保障の生協として
共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとり
ある暮らしをめざしています。出資金をお支払い
いただいで組合員になれば、各種共済をご利用
いただけます。

保障のことなら
全労済
全労済株式会社